

授業科目名 (英文名)	計測工学講究 (Advanced Researches on Measurement I)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	1,2,3年次・後期
担当教員	中村 龍哉 岡 好浩	所属	工学研究科
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	物性・デバイス部門の教員によって物性、物理関連の各専門分野の事項について以下のような講義を行い、学生たちが独立した研究者に育つよう教育する。		
講義内容・授業計画	<p>オムニバス方式にて行う。</p> <p>(中村龍哉教授) 磁気計測：磁性材料は使用目的に応じて様々な特性を持つものが開発されている。ここでは、磁性材料をマクロに調べる高周波透磁率の測定法、ミクロに調べるメスbauer分光法についてその原理と方法、これらの応用について講義する。</p> <p>(岡准教授) プラズマパラメータの計測：電子デバイスの作製にはプラズマプロセスが大きな役割を担っている。このプラズマプロセスを理解するためにはプラズマの特性を知ることが重要である。ここではプラズマパラメータの計測方法について講義する。</p>		
テキスト	特に指定しない		
参考文献			
成績評価の基準・方法	講義目的・到達目標に記載する能力（思考力、計算力等）の到達度に応じてSからCまで成績を与える。適宜レポート課題を課すのでこれを基準として、受講態度（積極的な質問等）を含めて総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	<p>授業科目一覧に記載の履修要件等に従う。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業 ・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>		
実践的教育	該当しない		
備考			